

堂谷津の里 自然だより

2020年 2月

2020. 2. 1

「立春」、春のたよりが見え隠れする季節となりましたが、まだまだ寒い日は続き、吹く風はピリッと冷たく感じます。それでも、だんだん日が長くなっていることを実感し、ちらほら咲く道端の小さな花に出会うとほかほかした気持ちになります。「・・・春遠からじ」ですね。



堂谷津の里 てくてくみっけ ♪♪

アカガエルの卵塊みっけ!



虫の冬越しみっけ!



冬鳥みっけ!



小さな春みっけ!



<季節メモ> フキノトウ

土の上にひょこっと顔を出すフキノトウはフキの花の蕾。春一番に出てくることから、「勢いのある縁起のよいもの」とされています。さて、フキノトウをはじめとする山菜はこれからが旬です。タラノメ、コゴミ、ヨモギなど数え切れないほどあります。山菜は苦味が特徴ですが、「春には苦味を盛れ」という昔からの教えがあるように、この苦みや香りには、心身に刺激を与え、機能を活発にさせてくれる効果があるそうです。旬の食べ物は、その季節にほしい栄養が蓄えられているのですね。

写真・編集：晝間